

## 部室に響くずぶとい声

午後4時、「しっかり、しっかり！」「集中、集中！」。ずぶとい掛け声が決して広くはない部室に響く。

6月28日、岩手県立久慈工業高等学校（久慈和男校長、生徒318人）ウエイトリフティング部（清水達也部長、部員20人）の練習場を訪ねた。

同部には普代中から進学した同校3年の芦渡翔君(18) 堀内、2年の太田孝典君(16) 太田名部、宮本英紀君(同) 沢向の3人が所属する。

黒板に顧問の吉田新一監督(37) 旧水沢市出身が書いた練



黙々と練習を続けるウエイトリフティング部の部員ら。写真右は吉田新一監督

習メニューを、部員全員が無言でひたすらこなしている。バーベルは次第に重さを増す。

練習が始まって1時間後、吉田監督が現れた。少し距離を置いたところに立ち、一人ひとりの確かな指示を出す。ちょうど2年前、同じく普代中から進んだ榎谷信行君 茂市を全国5位まで育て上げた監督だ。

## 「重量挙げ競技」とは

ここで重量挙げ競技について説明しよう。重量挙げは、スナッチとクリーン&ジャーク(略してジャークともいう)の2種目ある。スナッチは両手で地面に置いたバーベルを1回の動作で頭上に一気に



県民体育大会での賞状を手にする3人。左から宮本英紀君(69kg級2位)、芦渡翔君(85kg級1位)、太田孝典君(69kg級3位)

## 監督インタビュー



自分を信じて、成長してほしい

吉田新一監督(37)

重量挙げは見た目は単純でも、やればやるほど難しく奥が深い競技です。同時に指導面でも教える難しさがあります。その中で結果を伸ばすには「一番は練習を休まないで続けること」。そうするとたとえスランプになっても必ずそこから抜け出せます。そして努力の結果は自分の記録にも表れます。3人は練習熱心で本当に努力家。自分を信じ、このまま成長し続けてほしいと思います。

引き上げ、立ち上がる種目。一方のクリーン&ジャークは、地面に置いたバーベルを第1動作で肩まで引き上げて立ち上がり、第2動作で全身の反動を使って一挙動で頭上へ差し上げる種目。

競技はその2種目で3回ずつ試技を行い、持ち上げた最高の重量の合計を競うもの。ただし、どちらの種目も3回連続で失敗するとトータル記録は0kgとなり、失格となる。

## 芦渡、大会新V 85kg級

7月9日、第58回岩手県民体育大会が、久慈工業高校を会場に行われた。芦渡君は85kg級でトータル

ル260kgを記録し、大会新、県高校新で優勝した。全国でも上位クラスの重さだ。続いて宮本君が69kg級でトータル175kgを記録し2位、太田君も同階級でトータル167kgをマークし3位に入賞した。

芦渡君は6月24日、青森県平川市で行われた東北高校選手権でも、85kg級でトータル256kgの大会新で優勝した実力だ。

午後6時半、練習も終盤に差し掛かった。バーベルの重さも徐々に上がり3人の表情も険しくなってきた。午後7時、この日約3時間の練習を終えた芦渡君、太田君、宮本君の3人に、重量挙げにかけ熱い思いを聞いた。